

健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

友の会だより

中野共立友の会・広報委員会発行
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール：a_nozawa@kenyu-kai.or.jp
Tel:03-3386-9139

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごと、誰に相談したらいいか、どこに相談したらいいか、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ



昨年6月亡くなった母が通所リハビリでお世話になったのがきっかけで、約10年前からボランティアをしてきました。目が見えないなど障害がある方でも出来る「魔法の一本針」を使ってデイクエアで手

高松 みつえさん



病気になる、慣れ親しんだ家を離れ病院で治療になった時、誰でも心細く不安にかられます。そんな時、やさしく声をかけてくれるボランティアに出会うと、ほっとするのではないのでしょうか。中野共立病院は新しくなつて2月で1年になりました。医師・看護師・その他の職員と協力して患者さんが少しでも良い状態で安心して治療していただけるよう、病院に新しい風を吹き込んでくれるボランティアを求めています。特別な能力や資格は必要ありません。ボランティア講座も開催しています。ボランティアの方の活動は、病院職員にとっても励ましになり、患者さんとのふれあいが多くボランティア自身にとってもやりがいがあり、喜びにつながるとおもいます。

誰かの役に立ちたい 病院に新しい風を



いと思います。主人のリハビリ通院

藤田 静枝さん

お話し相手・買い物



芸を教えています。利用者さんは自分の両親だと思つて接しています。皆さん、出来なかつた事が出来るようになると、目に輝きが出てきます。作品が出来上がるとご家族にも喜ばれ、やりがいを感じます。自分も人との出会いで育てられ、財産になりました。今年1月から週2回の非常勤職員になり、これからも皆さんのお役にたつた



に付き合つて、その間、入院患者さんのお話し相手から始めました。見守り、車イスで買い物をする入院患者さんの付き添いなどをしていきます。最初はわからない事ばかりで、看護師さんに聞いたり、落ち込んだ時には、友の会の方に相談したりしながら13年続けていま

ボランティア活動

- ・お話し相手・散歩・買い物の付き添い
- ・見守り・配膳のお手伝い・屋外の清掃
- ・レクレーション・食事会の調理
- ・新聞発送作業・新聞手配りなど



病棟でフラダンスを披露するみなさん



新聞の発送作業に多勢の方々が

す。一日々々が新しいことの発見です。自分を待っていて、喜んでいただくことがうれしいです。患者さんの気持ちも理解できるようになり、自分もいつかお世話になると思っているので、それまで頑張りたいと



思います。ボランティアをやつてみたい方は大歓迎です。わからない事があつてもお互いに学び合いながらやつていきたいと思います。毎月3金曜日はお茶会をやっています。お誕生日カードやお茶を配つたり、お話し相手などお願いします。入院患者さんは、ボランティアの方々には愚痴も言えたり、表情が豊かになって、治療に



お待ちしております
病院3階
介護福祉士
金野 昭嗣さん

ご案内

ボランティア講座

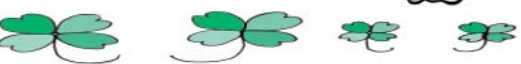
- 3月19日(水) 午後2時～4時
- 3月26日(水) 午後2時～4時

場所：中野共立診療所4階

- 内容：・病院でのボランティア活動
- ・人との接し方と心得
- ・車イス体験

参加費：無料

ご参加お待ちしております！



ボランティア活動は「安全に安心して」と「おだやかに」療養生活を送るためだと考えています。また中野共立病院が、地域の皆さんの病院として充実していくために、職員とともに考えていただく活動とも考えています。具体的には、お話し相手になつていたり、お散歩についていたり、気分転換に近づくに買物に行つていただいたり・・・私たちが職員では、なかなか行き届かない事を、お手伝いしていただきながら、職員とは別の角度からのご意見をお伺い出来たらと思います。私たちと一緒に、患者さんのために、やさしい時間を作つていきませんか。



中野共立病院
総看護師長
内 孝子



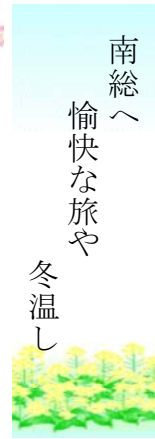
新春旅行

一月二十四日

今年の友の会新春旅行は南房総へのんびり、バスの旅を楽しみました。総勢42人のうち、14の方が初参加でした。前日、東京には初雪が降りましたが、当日は快晴で「みんなの行いがいいからだネ」などと和気あいあい、話しも弾みました。

日蓮聖人生誕の地、誕生寺に初詣をし、近くのホテルで海の幸の昼食、お風呂に入り、

昼寝をする人などゆっくり過ごしました。その後、お花畑でポピー、ストック、キンセンカなどの花を摘み、おみやげに。帰りのバスはビンゴゲーム、ジャンケン、くじ引きと景品の争奪で盛り上がりました。次回は秋の1泊旅行です。是非、参加したいと行き先の希望などもたくさんいただきました。



南総へ

愉快な旅や

冬温し

とものかい
みんなにこやか
たびのとも

参加者の方々から



診療所の「顔」として

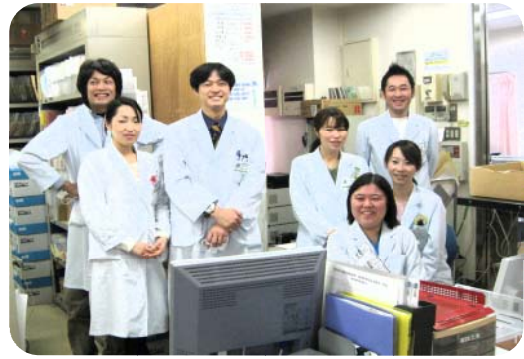
共立診療所医事課のスタッフは現在7人です。医療事務の主

職場紹介

⑤

共立診療所医事課

課長 吉田 亮



左から若月・坂田・千葉・塚本・松本・渡辺・吉田のみなさん

な仕事は、患者様が診療を受けられるための手続きや、診療内容の会計を行っています。特に会計業務は診療所にとってとても重要な仕事です。患者様は皆さん健康保険証をお持ちですね？それぞれの保険の負担割合に応じて、窓口でお支払いいただき、残りの分を健康保険組合等に請求しています。このどちらか片方でも滞ってしまえば、診療所はその時点で減収となり、これが続くと経営に陥ることになります。両方を確実に

うことで初めて私達の仕事は完了します。ですから、私達医事課は正確で正当な計算を行うよう日々励んでいます。だからと言って、計算に没頭するあまり、難しい顔やしかめっ面になっていてはいけません。受付は患者様が診療所にいらして最初に訪れる場所であり、お帰りに必ず立寄られる場所です。言わば診療所の「顔」ですから、その自覚を持ってこれからは、患者様に笑顔で接し、少しでも気持を和らげていただけるよう努力していきたいと思えます。

胃癌死亡率は減少



胃癌はかつて癌死亡数のトップでしたが、日本人の胃癌は減っているといわれています。確かに、統計で見ると胃癌死亡率は減少しています。胃癌の数は、高齢化の影響で非常に増えていきます。つまり胃癌になる人の数は多くても完治する人が多いので、死亡する人はあまり増加していません。それは、早期発見・早期治療の進歩が著しいからといえます。しかし、胃癌検診の受診率は12%程度で他の大腸がん20%、肺癌22%、乳がん19%に比べ受診率は圧倒的に低いのです。

程度を負担をかける程度でもない原因かもしれない。もつと検診受診率がアップすればさらに胃癌死亡率が低下することはないと思えます。

人くらいが精密検査となり、胃カメラ検査となります。胃カメラでは胃内をカメラで直に観察することが可能であり、なんといつでも組織検査が実施できるので胃癌の診断において最も重要な検査といえます。間接X線では死角となる部分も胃カメラでは見ることが出来ます。精密検査の場合は、胃カメラを飲むというところもあり、最初から胃カメラを受ける方も多いようです。



医師 関川 三四郎

胃癌検診のすすめ

胃カメラは重要な検査

早期発見のために、間接X線検査が推奨されています。間接X線検査とはバリウムを飲んで台の上で動いてレントゲン撮影する検査です。この検査で10人に1

検査前に絶食にするのは同じでも間接X線検査より胃カメラ検査は苦手という印象があるようです。特に喉の反射が強い方（歯磨きで奥歯を磨いたときに吐きそうになる方）にとつてはつらい検査という感想が聞かれます。



検査前にスプレー状の麻酔を喉に噴霧し、喉の反射を予防します。スコップも以前に比べて細くなり、

10mmに満たない程度となっています。初めて胃カメラを受ける方や咽頭反射の強い方は、事前に申し出て頂ければ、このスプレー状の麻酔を少し多めに追加したり、場合によっては鎮静剤を使用しても可能です。

早期発見・治療で完治

検査を勧めるのは見つかった癌の治療率が高いからです。検診で見られる癌の6〜7割は早期がんでこれは治療により90%以上完治します。進行した状態で見つかった場合でも手術をすれば6割以上は完治します。すなわち検診で見えられた胃癌は85%〜90%が完治します。まだまだ手強い癌ですが胃カメラの診断・技術の進歩によって癌は克服されつつあるのです。

